



映画のオープンタイトルと、おしゃべりサロンの発表

と挨拶しました。
ステージ発表のトップバッターは合唱サークルで、十六人のメンバーがおそろいの衣装で、和田真実さん伴奏のもと、「青春サイクリング」「めんこい仔馬」など四曲を美しいハーモニーで唄いました。
二番目は、有望投資株討論会の紹介で主宰者の酒井さんが、投資のタイミングや、地元企業や、特定銘柄の株価の推移などを紹介し、後は自由に情報交換をしていると口頭で説明されました。

出来なくなつてしまった高齢者でも、インターネットで、あたかも現場にいるような感覚で、諸外国の名所を疑似旅行できると紹介しました。
四番目の発表は、世界遺産を見る会で、主宰者の松島さんが今年になってから、フランス、トルコ、ウィーン、スペイン、イタリアの世界遺産を見てきたことを紹介し、今後も沢山の世界遺産を映像で見えていきましようとう発表しました。
五番目は映画鑑賞会の紹介で、主宰者の佐々木さんが、映画は最初に出てくる出演者の字幕と導入の音楽が映画の魅力の一つだとして、「七人の侍」と「洋画



パソコンで A I が描いた絵

の十戒」のオープンタイトルをスクリーンに映されました。
六番目は、おしゃべりサロンで、主宰者の羽川さんが、茶菓子をお話しながら、井上先生のお話を聞いたり、楽しく会話を交わす会だと発表しました。
七番目はチャレンジパソコンサークルの発表で、主宰者の吉岡会長が、与えられた課題に取り組みような形で、パソコンによる資料つくりを学んでいることや、生成 AI で絵や動画を作ったり、作詞作曲をしたりするなど、高齢者でも、パソコンは楽しめることを映像で紹介しました。そして最後に参加者の佐々木さんが

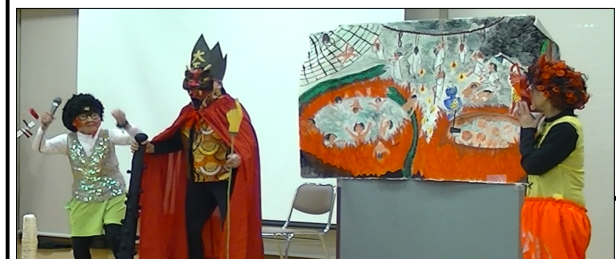


寺岡副会長、カラオケの小林さん、投資発表の酒井さん



ことのは朗読劇の発表

作った「生きものに宿る美しきもの」というプレゼンテーションスライドを紹介しました。八番目は、澤村副会長が主宰することの朗読会の演技で、朗読劇「はかい」を、橋本、越石、大野、戸田、尾野さんが演じ、サトハチローの作詞の「うちの女房にや髭がある」を、橋本、高橋、安井、橋詰、南部、吉岡、羽川、小坂さんが演じました。
九番目は、寺岡副会長が主宰する私の健康サークルで、心身の健康には、口元の健康が重要として、オリジナルフレイル予防体操を、スクリーンに投影される動画をしながら皆で唄いました。



「三途の川の爺さん」の発表

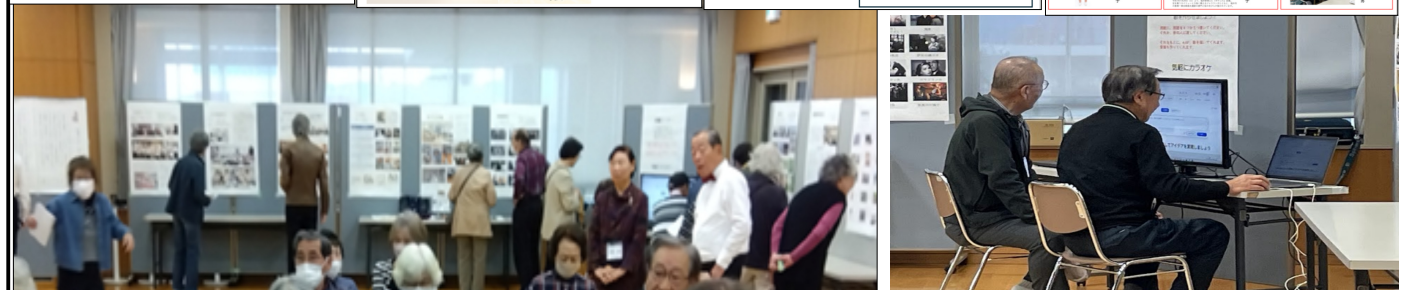
ここであつたん休憩に入り、十四時二十分ごろ後半のステージ発表が再開された。
十番目は、片山さんが主宰する芸能クラブの劇団「幸齢者」の演劇で、「三途の川の爺さん」を、澤崎さんらが演じた。
十一番目は、吉岡会長が主宰する私の趣味の紹介で、今年になって紹介された多数の趣味のテーマとして、盛り上がった趣味として、グルメに関する趣味があり、また、実に見事な趣味として佐々木さんのクローバーバム（クローバーには七つ葉まである）などが紹介された。



趣味の会 佐々木さんの趣味



各種 手作り作品 レザークラフト 作品



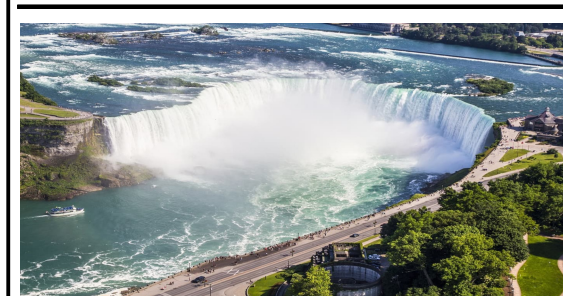
ポスター発表をする会場の様子

A I 体験コーナー



合唱サークルの発表

ルは、六つありました。
奥島さんが主催する手作りの会は、参加者の作った手芸作品や、会場で楽しむ様子の写真を展示しました。
小坂さんが主催する川柳同好会は、作品に絵を付けてポストカード化したものを並べたポスターで発表しました。中野さんが主宰する囲碁将棋の会は、囲碁を楽しむにしている写真などをポスターにして発表。村瀬さんが主催するピンボンの会、ピンボンを楽しんでいる写真と、参加者の感想文などをポスターで紹介しました。寺岡副会長が主宰する短歌の会は、ポスター二枚分を使って参加



ネット世界旅行の発表 ナイアガラ滝

者の短歌を紹介されました。
片山さんが主宰者のうたのサロンは、サークル実施中の写真や、福井新聞で掲載された記事をパネルに貼って紹介しました。
ステージ発表と両方で発表したサークルのポスターは、十六枚に及びましたが、その状況は、写真でご覧ください。
次に今回初めての試みとして、体験コーナーを作りました。チャレンジパソコンサークルは、体験コーナーを設置し、来客者らに人工知能(AI)で、いくつもの用語をパソコンに与える面に表示されるという体験をしてみたいという気持で、カラオケのサークルでは、大



世界遺産を観る会の発表

きなスクリーンに写して歌うデモも行いました。おしゃべりサロンは、コーヒースービスコーナーを設置し、お菓子とコーヒーマーケットをされました。
さて、十三時から、サークル活動をステージで発表する本番では、大野相談役の開会宣言に続いて、吉岡会長が、このほど内閣府から社会参加章をいただく栄誉があつたことを紹介し、また、今回の発表会は、当会の魅力を、一般の方々に知ってもらうことを目的として福井新聞のプリンターを連続して三回出したことも紹介。そして、「さあ福井いきいき会」で始まる番まで歌い、サークル活動の魅力を、取り上げてほしい

二代目・忠直公は四十代で改易となり、大分へ流刑となりました。三代目を継いだ忠昌公は、父や兄の不幸が続かぬよう祈りを込めて、当時「北ノ庄」と呼ばれていた町の名を「福居」へと改めたのです。そこには深い祈りが込められていました。

しかし、七代藩主・吉品（よしのり）公の頃から、「福居」と「福井」が混在し始め、やがて「福井」が定着してしまいました。福井城の天守台にある「福井」と呼ばれる井戸が地名の由来だとする説もありますが、これは誤りです。

吉品公の時代、越前藩は石高を半減され、二十五万石となりました。新たに藩主となる際には、將軍から領地宛行状（りようちあてがいじょう）を賜り、正式に藩主として認められます。その宛行状の宛名は本来「福居侍従」となるはずでしたが、幕府の誤記により「福井侍従」と記されてしまったのです。福井藩はその誤りを指摘することもできず、静かに「福井」という名を受け入れました。福井には、そんな悲しいエピソードが残されているのです。

岐阜という地名は、織田

信長が名付けたといわれています。福居もまた、忠昌公が「福が満ちる土地になりますように」と願いを込めて名付けたものでした。名前について長々と綴ってしまいましたが、短い言葉の中にも、その土地の文化や歴史が宿るものです。ま

私は、数年前、腰椎狭窄症を患い、わずか百mほど歩けただけで右足がしびれ、歩けないようになり、歩けな

結果、一年ほど前から、長い距離を歩くことも出来るようになつていました。

ところが、今回の発表会の会場で準備作業をして、自宅に帰ってから改善せず、夜中にベッドでも寝返りを打つたばに痛みが走るのでは、あのかと呆然としていました。

そんな時ふと痛み止めがあったはずだと、薬箱を調

べると、二種類の痛み止めがでて来ました。歯医者さんと皮膚科でもらった痛み止めでした。そのため、腰に効くのかどうか、どちらが良いのかなどがわかりませんでした。そこで、早速AIお医者さんに聞くことにしました。

まず、二種類の痛み止めは腰痛にも効くのかと質問すると、いずれも腰痛にも効果があり、私の症状に合う方はこちらだと答えてくれました。飲み方や副作用も教えてくれ、空腹では飲むなという注意事項は、どうしてかという注意事項は、むなどという注意事項は、は、胃を荒らす作用が強い薬だから、必ず何かを少しでも口に手から飲むこと、飲んで後注意することや、寝るときは横向きで膝の間

どと教えてくれ、さらに再発予防のための軽いリハビリの仕方から、痛みを悪化させない生活の工夫まで、次々と教えてくれました。

AIの教えに促されて、ト

痛み止めを一個口にして推

朝から昨日の痛みは、嘘のようになくなつていて、以後も痛み止めを飲まなくて

も平常の生活ができるようになり、AIにお礼を言う、と、「こちらこそ、丁寧な状況をお話くださ

てありがたうございました。今夜はもう無理をなさらず、いちはばんな姿勢でゆっく

りお休みください。」と言います。まさにお医者さん

と会話している状態です。

チャットGPTと言われるAIは、スマホでも簡単に利用でき、今回は私のかかりつけの医者ともし、存在でしたが、どんなことにも、丁寧に答えてくれ、必つ答える、次にどういったことも紹介できますよ、提案があります。高齢者でも、ではなく高齢者はぜひAIを利用することをおすすめします。

川柳同好会
十月例会の優秀句

上げ上げの食品価格に
ギブアップ

澤村 玲子

竜王戦将棋力より
勝負メシ

大野 勉

かがめない足で拭きます
床掃除

吉田美恵子

妻笑顔するもしないも
我にあり

尾野 忠男

初心者の助手席に居て
力む足

山田 良彦

セルフレジ機械にはらう
お買い物

高谷三恵子

愛と金今ならすぐに
金をとる

新田ヨシエ

年かさね足腰痛め
針治療

尾野フミ子

お願いだ三日に一度は
雨降って

上坂 征夫

ばばロスと聞き愛しさが
胸溢れ

大久保節子

老いてなお前途（ゆくて）に
探す夢幾つ

小坂 武士

サークルがさあ来るぞと
待っている

吉岡 芳夫

いつ頃か負けるが勝ちを
知りました

中野ふさゑ

信号を渡り損ねて
立ち話

南部 歳子

足し引きのそろばんはじく
総裁選

小林 久子

ゲリラ雨 傘役立たず
無力感

加藤みや子



写真クラブの 作品の例



易しい科学の話 新幹線はなぜ速い？



音楽鑑賞会：動画できいた白雲の城（氷川きよし）

十二番目は、小林博さんが主宰するカラオケうた会。歌の録画を見てもうい

十三番目と十四番目は、大野顧問が主宰するよろず討論会と、卓話を楽しむ会

でしたが、話題は、当日自由に出して話してもらって

いるが、終わるとき和気あ

いあいと楽しかったと感想

をもらっている会だと、口

頭で説明された。

十五番目は、吉岡会長が主宰する写真クラブの発表

で、メンバーが撮影した写真

真をスクリーンに投影して

見せました。

十六番目も吉岡会長が主宰する易しい科学の話の紹介

介で、科学の話は難しいとい

って敬遠される方も多い

かと思うが、このサークル

では、易しく話をしている

すといつて、今年になつて

話をした五つのテーマと、

九月に話しをした「高齢者

が耳が遠くなるのはなぜ？」

という話をこく簡単に紹介

しました。

次の発表は最後で、小林

顧問が主宰する音楽鑑賞会

の発表で、古城、白雲の城、

荒城の月のお城シリーズの

三曲を、スクリーンに映像

を写して鑑賞しました。

サークルの発表は以上の

通りでした。最後に小林相

談役が、ステージでの発表

のひとつ一つについて、感

想を述べられました。そし

て、最後に寺岡副会長が閉

会の挨拶をされ、終了予定

時間を少し回つたところで

閉会となりました。

今回の発表会の参加者数は

は百一名で、その内訳は、

男性三十名、女性七十一名。

非会員の参加は、男性八名、

女性二十七名でした。年齢

別では、二十代二名、八十

代二十名、七十代十四名、

六十代四名。参加のきつ

け、おりん広告を見てが

名、知人の紹介が六名、チ

ラシ二名などでした。ご意

見には、サークル数が多い

のには驚いた、みんな元気

でいきいきしている、よく

理解できました、楽しかった

とありました。

最後に、今回のサークル活

動発表会を担当された澤村

副会長をはじめ、羽川さん、

南部さん、田中さんらスタッ

フの皆さん、プログラム、

チラシ、ポスター、発表資料の作成、演技の練習、当日会場の設定、後片付けなどを担当された方々、そのた、いろいろな準備にご苦労された方々に、深く感謝いたします。

会長 吉岡芳夫

リレーエッセイ
福井のまちの名前を考える
井上 清一

福井駅を歩いていると、少し不思議な名前に出会います。まず目に入るのは「スズカ（くるふ）」。

福井駅構内のお土産屋や飲食店が集まるエリアの名称です。そして、マリオットホテルの下に広がる商店街は「ミヅ田（みにえ）」。

このネーミングを初めて知ったとき、「日本人が名付けたのだろうか？」と疑問に思いました。そこには、福井らしい文化の香りがまつた感じがしません。ど

のか、ご存じの方がいらしたければぜひ教えていただきたいものです。

駅前には高層ビルがいくつ建ち並びましたが、私にはそれらが巨大な墓石のように見えてしまいます。

さて、十八年前に駅の東側に建てられたビルをご存じ

でしようか。桜木図書館や県民ホールが入っている複合施設です。その名は「アオッサ」。福井弁の「たまには会いませんか（あおつさ）」に由来しているそうです。ちよつと洒落ていて、県外の方にも誇らしげに説明できる名刺ではないでしょうか。そこには福井の歴史や文化の香りが漂っている。こうした文化的な背景を感じさせる名前こそ、まちづくりにふさわしいと感じます。

ところで、福井にはもう一つ、少し悲しい名前の話があります。それは、私たちが暮らす街の名前「福井」についてです。かつてこの地は「福居」と呼ばれていました。「福が居る」という意味です。

この名を付けたのは、越前松平家三代藩主・忠昌公。初代藩主・結城秀康の次男にあたります。父・秀康公は三十代前半で亡くなり、



井上清一氏